

## 第7回 第二期武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）策定委員会 議事録

日 時	令和3年12月22日（水）18:00～20:00
場 所	武蔵野市役所西棟 5階 対策本部室
出席者	【委 員】◎松尾哲矢委員、○石黒えみ委員、秋本清委員、櫻井昭委員、鈴木健太郎委員、河合雅彦委員、鏑邦宏委員、多田てい子委員、前川洋司委員、新野雅史委員、古賀祐輝委員、田中博徳委員、樋爪泰平委員 ※◎委員長、○副委員長
	【事務局】武蔵野市教育委員会生涯学習スポーツ課
	【事業者】株式会社創建（計画策定支援事業者）
欠席者	1名（藤田勝敏委員）
傍聴者	1名
次 第	1. 開会 2. 議事 （1）中間のまとめパブリックコメントへの対応案について （2）第二期武蔵野市スポーツ推進計画の指標設定について （3）第二期武蔵野市スポーツ推進計画（仮称）（案）について 3. 事務局連絡事項
資 料	資料1 中間のまとめパブリックコメントの結果と対応案 資料2 第二期武蔵野市スポーツ推進計画の指標設定について 資料3 第二期武蔵野市スポーツ推進計画（仮称）（案） 資料4 第二期武蔵野市スポーツ推進計画該当事業一覧

## 1. 開会

事務局より、開会の挨拶を行った。

## 2. 議事

### (1) 中間のまとめパブリックコメントへの対応案について

事務局により、資料1に基づいて説明を行った。

委員 No. 30 について、「コストとプロフィット」という言葉は「コストとメリット・デメリット」とした方が良いと思うがいかがか。

事務局 資料1の意見内容については、提出された原文をそのまま掲載している。

委員 承知した。それならば問題ない。

委員 No. 40 について、対応案には「屋外プールは開場しなかった」事実だけではなく、今年度は順番待ちシステムを導入するなど、並ばずに済むよう取り組んでいたため、そのあたりの配慮が伝わるように修正していただければと思う。

事務局 ご意見を踏まえて修正させていただきたい。

副委員長 計11通、意見件数54件とはどのような意味か。

事務局 11名の方が提出したという意味である。

副委員長 プールに関するご意見は3名からということによろしいか。

事務局 その通りである。

副委員長 承知した。No. 4について、改めて情報発信の重要性を再認識した。AIDMA や AISAS といったマーケティングの考え方があるように、どんなに良い情報を発信しても気づいてもらえなければ意味がない。情報が市民により一層伝わるように必要な予算を確保していかなければならないと気付いた。

プールについては、今後も継続的に丁寧に説明する必要があるだろう。

事務局 情報発信については全庁的なリニューアルが控えているので、特に生涯学習スポーツ課としては、スポーツに関係する情報をわかりやすく発信していきたい。また、生涯学習振興事業団も来年4月にホームページをリニューアルする予定のため、わかりやすい情報発信に力を入れていきたい。プールに対する説明も丁寧に対応していくこととする。

委員 プールのあり方や整備のコスト面などについては、11月の行政報告でも質問・指摘を受けた。また、市民からの意見を十分に受け取りきれていないのではないかと指摘もあったため、プールは一定の方向性について本計画で記載するものの、本市では令和6年度に第六期長期計画の調整計画を策定することから、整備の内容については令和4・5年度と2か年かけて全庁的な議論をし、調整計画で記載していく予定である。また、情報発信も十分にしていく。

委員 パブリックコメントの所感として、屋外プールに対して前向きな意見がみられた。夏の屋外プールは子どもたちにとって安全な遊び場なのではないか。

委員 No. 14 について、対応案を見ると既に対策を講じたという趣旨が記載されているが、コミュニティバスのルート検討含め、もしも検討の余地があるのであれば、その旨伝わるように修正できるとご意見を出した方も納得していただけるのではないかと。

No. 33 について、こちらの意見については対応案を「ご意見として承ります。」とするよりも、もう少し市の事情等や検討する余地を記載しても良いのではないかと。

事務局 No. 14 について、本市のコミュニティバスは市内の交通の不便な地域を解消する、いわ

ゆる空白地域にルートを設けるものであるため、スポーツ施設に特化してアクセシビリティを良くしていくという取組みは難しいと考えている。

No. 33 について、市民によって関心のある競技種目が多様なので、今回意見として出されているバスケットボールをはじめ、一つの競技種目に偏ることなく総合的に検討させていただきたいと考えている。

委員 純粋な要望型のコメントに対して安易に「検討します」と回答できない点についてはご理解いただきたいが、本市の事情や実態等で何か記載できることがあれば示していきたいと考えている。もし書きぶりでアイデアがあればご助言いただきたい。

委員長 本計画の記載内容を活用して、「この部分が該当します」と返答していけると良いのではないか。バリアフリーやアクセシビリティという点についても、本計画で示している範囲の文言で、今後何かしら取り組んでいく姿勢を見せてはいかかがか。

委員 No. 33 について、本市の事業の一つである「市民スポーツデー」の時はボールを持ってきて良いことになっている。参加してもらえば校庭でも体育館でもボールを使ってスポーツを楽しむことができるため、啓発の意味も込めてそのような内容を記載してはいかかがか。

委員長 実際に取り組んでいることや、既に所管課として課題認識を持っているのであれば、「本計画において〇〇のように考えていく、捉えていく」などと回答できると良いのではないか。

委員 素朴な質問として、パブリックコメントを提出した人の性別や年齢は公表しないのか。年齢層に偏りのある意見だと、受け止める意味や重みにも影響があるのではないか。

委員 確かに委員のご指摘の通り、そのような性別や年齢の偏りが生じてしまうことも考えられるが、より気軽に意見を提出していただくことを優先しており、全庁的にパブリックコメントの際は性別や年齢等の個人情報の提示を必須要件としていない。

## (2) 第二期武蔵野市スポーツ推進計画の指標設定について

事務局により、資料2と資料4に基づいて説明を行った。

委員 主な事業と施策（取組）の効果の数値化は大変なことと思う。今回、整理していただいて十分理解できた。

委員長 数値化には、外部要因による影響などなかなか難しい面もある。

副委員長 資料2は作成していただいてとてもわかりやすくなったと考える。国の審議会においても、EBPMの議論が重ねられていて、武蔵野市は全国の市町村の中でもリードしている自治体となっているのではないか。

一点、国では計画期間を前半と後半に分けて進捗を確かめる記載があった。武蔵野市も計画期間が10年間と長いと、それぞれの事業が施策、基本目標にどのくらい効果を与えているのか進捗を確認していけると良いのではないか。また、資料2を見ると、基本方針の一部がロジックツリーにないが、これは意図的なのか。

事務局 生涯学習スポーツ課としては、基本理念を実現するために最も基本となるのはスポーツ実施率を高めることと捉えている。そして、その割合を補完するものとしてスポーツ施設の満足度があると捉えているため、全ての基本方針を網羅するものではない。

副委員長 承知した。そのような意図があるのであれば、基本方針の抜け漏れと誤認されないように補足していただければと思う。

事務局 承知した。

委員 令和2年度に実施したアンケート調査では「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」と4件法で評価をしており、「どちらでもない」がない。ここでは現状値と目標値が点数となっているが、全員が「やや満足」を選んでも3点にしかならないため、「満足」と「やや満足」の割合とした方がわかりやすいのではないか。もしも点数で目標値を示すのであれば、補足説明があった方が良好だろう。

事務局 承知した。よりわかりやすい示し方を検討させていただきたい。

### (3) 第二期武蔵野市スポーツ推進計画(仮称)(案)について

事務局により、資料3に基づいて説明を行った。

委員長 p58のIV-(2)-②について、「パブリックコメントで寄せられた意見や」とあるが、全ての内容がパブリックコメントや策定委員会等の意見を踏まえて作られているものなので、あえて計画書に記載する必要はないだろう。また、p88の③について、今後の方針に「多くの課題があるため」と記載されているが、マイナスがあるから改善するというよりも、より市民の利便性が高くなるといった、プラスにするから改善するという趣旨が伝わるように記載していただければと思う。

委員 p47について、武蔵野市は東京都と比べると成人等のスポーツ実施率(週1日以上)が高く現時点でも評価できることだが、今後、スポーツ施設の整備によりますます実施率が高くなるのではないか。市民が行きやすい場所、なるべく広域に施設を配置していただきたい。

今後、総合体育館の改修を検討するに当たり、ニュースポーツの対応についても検討していくことが必要と考える。

委員 p47について、障害者のスポーツ実施率(週1日以上)の現状値は不明で、目標値は40%となっているが、何か補足説明があった方が良好と思うがいかがか。

委員長 不明ではなく、「-」(ハイフン)でも良いのではないか。

事務局 書きぶりは検討させていただきたい。今回、障害者に絞ってスポーツ実施率を調査しているわけではないが、後は把握していきたいと考えている。

委員長 目標値を40%とする背景や、今後障害当事者に向けてもアンケート調査を実施して数値を把握していく旨、記載すると良いのではないか。

委員 ロジックモデルの施策は4つしかないが、これらは重点施策を指すのか。そうであれば、施策は重点施策という表記にした方が良好ではないか。

また、計画期間が10年間と長いため、指標は前半・後半と分けても良いのではないか。施策は網羅されている印象を受けるが、指標は網羅性が乏しいように見える。

事務局 重点施策は施策のうち、特に重点的に力を入れるものとして記載をしているため、表記は今のままが正しい。また、今回ロジックモデルで示した指標と目標は、基本理念を実現するための最も基本となるものに絞り込んでおり、10年間を通して目指すものとしたと考えている。

委員 基本理念・施策について、コンパクトにまとまっている。数値目標については今日の説明から理解できた。ロジックモデルの経緯も含めて、わかりやすくコメントで示すと良いのではないか。

委員 p31について、(一社)横河武蔵野スポーツクラブの活動内容等は、「アカデミー(育成)

を」ではなく、「アカデミー（育成）の」に修正していただきたい。

また、同じ場所の記載で「かけっこ教室」と「女性限定ゆるフット」は開催見込みがなくなったため、記載しないでいただきたい。

相互協力の部分は4者協定を結んでいること、ラグビーの授業支援のことも記載していただくとともに、「スポーツ教室」は「サッカー教室の講師派遣」の方が読み手に正確に伝わるだろうと考える。

p58 について、武蔵野陸上競技場の「改修を行いながら」と記載あるが、以前も稼働率の低さについて言及した。稼働率を高めるためには、人工芝にする、ナイター設備を設置するといった方策が考えられるが、「魅力的な大会・イベント」とはどのようなものか、稼働率の向上のための対策について触れたらどうか。

事務局 ラグビーワールドカップ 2019™ やオリパラがあり、今後もレガシーを引き継ぎながら、クラブと連携を深めていきたいと考えている。ナイター設備の件は近隣住民からの理解が得られにくく難しいところである。夜間の施設利用を促したい気持ちはあるものの、近隣住民の生活もあるので、難しい点をご理解いただきたい。

委員 p58 について、p101 に詳細を載せているため「p101 参照」と入れていただきたい。また、参考資料で示せるものはできるだけ示していきたい。  
計画の数値目標については、今回配付した資料2の内容と委員の皆様から受けた意見を踏まえ、コメントを加筆していきたい。

それから、先の議会において、「コロナ禍を経たスポーツ推進計画となるため、コロナの影響を受けてスポーツのあり方はどのようになるのか。制限がある中で、できるスポーツとできないスポーツがある。今後このような事態になった時にどのように対応するのか記載すべき。」というコメントをいただいた。この点について、何か助言があればいただきたい。

委員長 p51 に記載のある通り、自宅での活動やデジタルを活用したスポーツなどはまさに対応していることと思う。また、サイクルスポーツも人気を博しており、コロナ禍だから流行りつつある、普及しつつある競技種目もある。自宅や家族でできるもの、人と会わなくてもできるものについて記載できると良いと思う。

委員 p6 について、e スポーツは複数の議員から意見が出た。最後の段落を追加させていただいたが、この内容で良いかもご意見いただきたい。

委員長 既に「電子機器を利用してゲーム感覚で身体を動かす活動」という文言が入っているため、今のままでも対応できていると考える。

委員 コロナに関しては将来的にどのように変異するのかわからないため、今の状態を踏まえて記載するのは得策ではないと考える。状況の変化が著しい今とあつては、委員長からのコメントのように家庭内で取り組むことを示していくと良いだろう。

委員 p58 のIV-(2)-②について、「解体」など整備方針を明示して良いのか心配である。また、p47 の障害者のスポーツ実施率（週1日以上）について、本市には、障害者手帳所持者が約6,000名いる。内容や程度に差があり、分母とする対象者をどのように設定して計算するのかを考えておく必要があると思う。

委員 「解体」表記については、本計画で方向性を記載した上で、さらに第六期長期計画・調整計画で検討するという文言を追記することは可能であるため、事務局と検討させていただきたい。

委員 p58～59 について、旧桜堤小学校跡地のことが触れられていないが、できるなら触れて

- いただければと思う。
- 事務局 第六期長期計画において「当面は桜野小学校の第2校庭として活用したのち、武蔵境圏におけるスポーツ広場として整備するが、その時期については、隣接する公共施設の整備状況を勘案したうえで検討する」と記載している。この整備が終わり次第、検討していく予定である。
- 委員 資料1のNo.36のコメントでも同様のご意見があるが、今の時期にあまり深く言及できない点についてはご理解いただきたい。
- 委員 p33について、もう少し施設の実名を記載しても良いのではないかと。コミセンも団体がスポーツとして活用している。市民のものとして、市民に身近な施設名や学校名は具体的に示せると良い。
- 事務局 見せ方は検討するが、参考資料として示すことも考えていきたい。
- 委員 とても良くまとめられており、私は民間企業に勤めているため、新たな気づきを得られる機会となった。
- 本計画における大きなメッセージは重点施策で示していると思うが、それぞれ網羅的に取組みが記載されている中で、これは、というメッセージを示していれば良いのではないかと。また、コロナ禍だからこそスポーツのリアルな臨場感に価値があることが再認識できた。
- 委員 以前から動画配信による健康づくりは進められてきたが、コロナ禍の影響を受けて、スポーツに関する動画コンテンツが充実してきている。一方で、お知らせ方法については、動画に辿り着いてもらえないなどの課題がある。
- コロナ禍について、何をやるにせよ人数制限のハードルがある。そのため、計画の目標を達成できるかどうかという不安がある。健康づくりを推進している立場としては、施設の改修期間が長いと、この間の支援・対策について検討する必要があるのではないかと。
- 事務局 1年間という休館を迎えるにあたり、今の利用者にスポーツをどのように推進するのか、民間企業や学校と連携していかなければならないと考えているので、今後検討させていただきたい。
- 委員 前回の総合体育館の改修時には、各小学校の施設開放に集中的に人が流れてしまい、大変だった記憶がある。円滑に運営できるように準備を進めていただければと思う。
- 副委員長 樋爪委員からあったコロナ関連のことについて、屋外で密にならないようなスポーツが盛んになっているため、p50のアウトドアスポーツの部分に追記できると思う。
- p8の文末について、「確認します」とPDCAのC(チェック)までなので、改善して実践するところまで記載されていた方が良い。
- ロジックモデルと施策体系を一緒に載せると混乱を招くかもしれないので、コメントを挿入するなど工夫していただきたい。
- 参考資料に施設をプロットしたマップを盛り込むということだったので示していただきたい。
- また、本計画はフルカラーで配布されるということで、特に関係者に広く知っていただくことが重要なので、どこで・誰に・いつ配布するのかも重要だろう。
- 委員長 p8について、どのように修正して進めていくのかということに記載した方が良いのではないかと。

(3) その他

事務局 次回の会議は1月26日を考えているが、改めて連絡・調整させていただきたい。

以上